

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	針生悦子 教授	所属	東京大学 教育学研究科
研究会等名称	幼児言語発達研究会		
成果概要	<p>今年度も、幼児言語発達の研究分野を盛り上げていくために、研究発表会 (2/1, 2/2) や特別講演会 (2/3) などのイベントを企画・実施した。以下にその内容について報告する</p> <p><u>1) 研究発表会</u> 日時：2019年 2月1日 (金) 13:00-17:10 2019年 2月2日 (土) 10:00-17:50 場所：新潟日報メディアシップ 6階ナレッジルーム (新潟市) 共催：電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 発表件数：19件 招待講演：1件 (宮崎謙一「絶対音感と音楽の認知」) 参加者： 2/1 40名 (日本心理学会会員 15名) 2/2 40名 (日本心理学会会員 23名)</p> <p>概要：今年で6年目 (6回目) を迎える研究発表会では、幼児言語発達研究に関する口頭発表 (1名につき20分、議論10分) が活発に行われ、研究内容について深い議論が行えた点が非常に良かった。また招待講演で絶対音感の話を見聞し、新潟大学の宮崎先生にさせていただき、言語発達研究とも接点があり非常に勉強になった。</p> <p><u>2) 特別講演会</u> 日時：2019年 2月3日 (日) 10:00-12:30 場所：新潟大学五十嵐キャンパス (新潟市) 特別講演1： 鈴木光太郎 (新潟大学) 「謎解きアヴェロンの野生児」 特別講演2： 内田伸子 (お茶の水女子大学) 「こどもの言語発達」 指定討論： 針生悦子 (東京大学) 参加者： 60名 (日本心理学会会員 25名)</p> <p>概要：研究発表会のサテライトシンポジウムの位置づけで企画し、新潟大学の鈴木光太郎教授に「アヴェロンの野生児」に関する最新動向と言語発達の関連について90分の特別講演をして頂いた。それを受けてお茶の水女子大学の内田伸子名誉教授より「言語発達」に関する45分の講演をして頂き、言語発達を育む環境についての議論を深めることができた。参加者は、日本全国から集まり、日本心理学会会員だけでなく、言語聴覚士や発達支援に関する行政従事者も多かった。</p> <p>研究発表会と特別講演会のいずれも、多くの方が参加していただいた上に、活発な議論も行われ、非常に有意義なイベントとなった。本研究集会では、来年度以降も本分野を盛り上げていくために、継続的に活動を行っていきたい。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
幼児言語発達研究会				
研究集会開催日： 2019年2月1日(金)、2日、3日				
	氏名	所属	会員	認定 心理士
1	針生悦子	東京大学	○	
2	小林哲生	N T T	○	
3	鈴木孝明	京都産業大学	○	
4	奥村優子	N T T	○	
5	石川知夏	N T T	○	
6	宮崎謙一	新潟大学	○	
7	白井述	新潟大学	○	
8	新美亮輔	新潟大学	○	
9	鈴木光太郎	新潟大学	○	
10	中島伸子	新潟大学	○	
11	内田伸子	お茶の水女子大学	○	
12	山口真美	中央大学	○	
13	辻弘美	大阪樟蔭女子大学	○	
14	和田有史	立命館大学	○	
15	井上和哉	筑波大学	○	
16	金重利典	東京大学	○	
17	東山薫	龍谷大学	○	
18	齋藤恵美	新潟青陵大学	○	
19	村田佳代子	千葉大学	○	
20	増田知尋	立教大学	○	
21	小松英海	慶應義塾大学	○	
22	渡邊伸行	金沢工業大学	○	
23	横山ひとみ	岡山理科大学	○	
24	村上太郎	九州女子大学	○	
25	松田昌史	N T T	○	

(様式5)

2019年 3月 29 日

日本心理学会研究会 2018年度会計報告書

研究会名称 幼児言語発達研究会

研究会番号 研18025

助成金額 ¥30,000

<u>年 月 日</u>	<u>項 目</u>	<u>金 額</u>
2018年10月31日	施設利用料 (新潟日報社)	¥30,000

支出合計 ¥30,000